

武蔵野市立体育施設類型別施設整備計画



武蔵野市教育委員会

令和3年3月

目 次

第 1 章 計画策定の背景・目的、位置づけ等

1 - 1 策定の背景と目的	1
1 - 2 公共施設等総合管理計画と類型別施設整備計画との関係	2
1 - 3 基本的考え方	3

第 2 章 本計画の対象施設、計画期間

2 - 1 対象施設一覧	4
2 - 2 計画期間と見直し	4

第 3 章 個別施設の状況等（基本情報、現状、課題）

3 - 1 武蔵野総合体育館・陸上競技場	5
3 - 2 温水プール・屋外プール	10
3 - 3 軟式野球場	15
3 - 4 庭球場	17
3 - 5 緑町スポーツ広場	19

第 4 章 対策の優先順位と施設の評価

4 - 1 優位順位の考え方	21
4 - 2 施設評価と今後の方針	21

第 5 章 対策内容と実施時期

5 - 1 対策内容と実施時期	28
-----------------	----

第 6 章 本計画の実現に向けて

6 - 1 フォローアップの方法	29
6 - 2 実施体制	29
6 - 3 未来へ向かって	30

第1章 計画策定の背景・目的、位置づけ等

1-1 策定の背景と目的

地球の気候変動、食糧・水・エネルギー問題、各国首脳の交代による政治の不安定化など、近年の国際情勢は依然として混沌としています。新型コロナウイルス感染症の拡大は先行きの見えない状況に拍車をかけており、今後も不安定な国際情勢が続くことが想定されます。

日本国内においても、世界に類を見ない急激な人口減少と超高齢化、それらによる人口構成の変化や過疎化は、ライフライン、都市基盤、経済、医療、国防等々の国力の保持に大きな影響を与え、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに国難と言っても過言ではありません。

このような状況の中、国は、数年前から自治体の資産・負債・財政状況の見通しの把握に取り掛かるとともに、自治体へ対して様々な計画策定等について義務付けや要請を始めています。公共施設等総合管理計画の策定の他、地方人口ビジョン（地方版総合戦略）の策定、新公会計制度の導入、公営企業会計への移行、下水道財政計画や中長期計画の策定、固定資産の台帳整備、道路ストック総点検、地方団体の経営・財務マネジメント強化事業等々、様々な分野において自治体の課題の洗い出しと経営改善に乗り出しています。

武蔵野市は計画行政のもと早期から下水道や道路をはじめとする都市基盤を整備し、コミュニティ構想の三層構造の考えにより適正に公共施設を配置してきました。平成23年9月に「公共施設白書」を策定し、平成25年3月「公共施設再編に関する基本的な考え方」を策定、平成29年2月に「公共施設等総合管理計画」が策定されました。今後、上下水道等の都市基盤の更新、市立小中学校の改築が必要な中、持続可能な財政運営を行っていくため、公共施設の予防保全的な維持管理を行いながら長寿命化を図り、財政負担の軽減・平準化に取り組んでいく必要があります。

総合体育館をはじめとする市立体育施設は、地域のスポーツ活動や交流の場として長年親しまれてきました。さらに、竣工後も着実に改修をしてきたことが、近年のジャパンパラボッチャやワールド×ラグビー等の国際的な親善試合や国際交流の創出、Sports for Allにおけるトップアスリートと市民との触れ合いなど、より広く深い交流が生まれ、市民への還元へとつながっています。スポーツの価値観が多様化するとともに、市立体育施設が担う役割や可能性も広がっています。社会全体が混沌とした状況においても市立体育施設がこのような変化に対応し、その結果スポーツを通して市民が潤いある生活を享受することができるよう、本計画を定め、計画的に整備・更新に向けて取り組みます。

1-2 公共施設等総合管理計画と類型別施設整備計画との関係

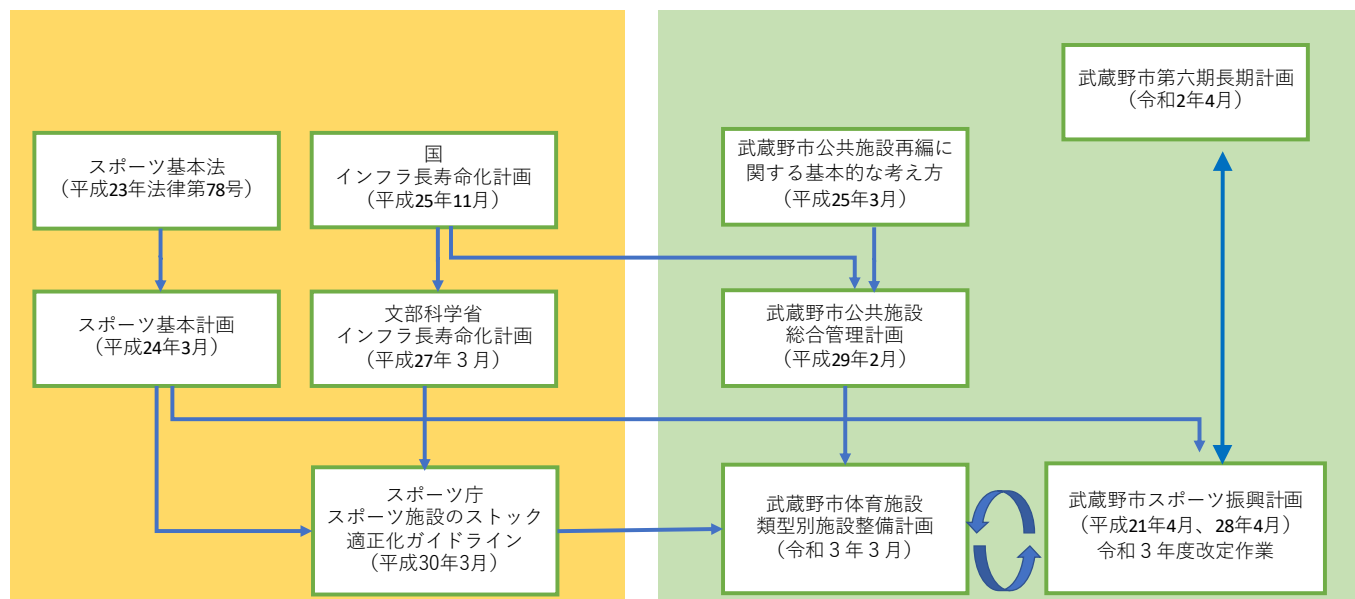
国は、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図ると共に、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月）を定め、各自治体に対してもインフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取り組みの方向性を明らかにするため公共施設等総合管理計画を策定するよう明記しました。

総務省からは、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成 26 年 4 月 22 日付総財務第 74 号総務大臣通知）において「国の動きと歩調をあわせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組みられるよう」要請があり、さらに、公共施設等総合管理計画に基づき個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、個別施設計画（長寿命化計画）を令和 2 年度までに策定することが求められています。

また、「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」（平成 27 年 3 月）においては、各設置者におけるメンテナンスサイクルの構築、長寿命化による中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、行動計画・個別施設計画の策定を通じた予算の平準化を目指すべき姿に掲げています。このことを受けてスポーツ庁は、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成 30 年 3 月）により、地方公共団体が、安全なスポーツ施設を持続的に提供し、もって国民が身近にスポーツに親しむことのできる環境を整備できるよう考え方を整理しています。

本計画は本市の最上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」及び「武蔵野市公共施設等総合管理計画」、「武蔵野市スポーツ振興計画一部改定」に基づき、市立体育施設の維持・更新に関する個別計画としてまとめたものです。

計画の位置づけ、上位計画等との関連



1-3 基本的考え方

令和3年度に次期武蔵野市スポーツ振興計画の改定を行うため、今回の類型別施設整備計画においては、既存の施設を現状維持、長寿命化し、使用することを前提としてまとめています。但し、既に予定している総合体育館の外壁・屋上防水等工事と大規模改修工事については、改修時期・予算規模（想定）を明記しています。

今後、武蔵野市スポーツ振興計画の改定、武蔵野市第六期長期計画・調整計画の策定に伴い、必要に応じて類型別施設整備計画についても見直しを行います。

第2章 本計画の対象施設、計画期間

2-1 対象施設一覧

本計画の対象施設の名称及び位置は以下のとおりです。

名称	住所
武蔵野市立武蔵野総合体育館	武蔵野市吉祥寺北町5丁目11番20号
武蔵野市立武蔵野陸上競技場	武蔵野市吉祥寺北町5丁目11番20号
武蔵野市立武蔵野プール	武蔵野市吉祥寺北町5丁目11番33号
武蔵野市立武蔵野温水プール	武蔵野市吉祥寺北町5丁目11番33号
武蔵野市立武蔵野軟式野球場	武蔵野市緑町3丁目1番34号
武蔵野市立武蔵野庭球場	武蔵野市緑町3丁目1番34号
武蔵野市立緑町スポーツ広場	武蔵野市緑町2丁目2番29号



2-2 計画期間と見直し

この計画の期間は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とします。この期間内においても、令和3年度に改定を予定しているスポーツ振興計画、第六期武蔵野市長期計画・調整計画、人口動態、社会情勢等の動向を踏まえ、必要に応じて見直すとともに、スポーツ振興計画へ本計画を併記することを想定しています。

第3章 個別施設の状況等(基本情報、現状、課題)

3-1 武蔵野総合体育館・陸上競技場(スタンド下諸施設)

■施設の現況

基本情報	施設名称	武蔵野市立 武蔵野総合体育館	武蔵野市立 武蔵野陸上競技場
	所在地	吉祥寺北町5-11-20	
	主要用途	体育館・観覧場	
敷地概要	用途地域	第一種住居地域	同左
	容積率	200%	
	建蔽率	60%	
	防火指定	準防火地域	
	高度指定	23m 第2種高度地区	
	日影規制	4h - 2.5h / 4m	
	前面道路	西側：市道17号線15m 北側：市道41号線9m	
建築概要	竣工年月	平成元(1989)年8月31日	
	供用開始年月	平成元(1989)年11月3日	
	設計者	株式会社東畑建築事務所	
	敷地面積	56,689.24 m ² ※総合体育館、陸上競技場、	
	うち市有地	55,286.17 m ² 温水プールと一体で建築確	
	うち借地	1,403.07 m ² 認申請を行っている。	
	延床面積	22,966.76 m ²	
	建築面積	14,824.01 m ²	
	地上階・PH階	地上5階・PH1階	
	地下階	地下1階	
	構造	SRC造、一部S造及びRC造	
特定天井	平成29年度改修工事済	該当なし	
主な設備	電気設備	【設備】高圧受変電設備 【供給】クリーンセンターから電力供給	
	空気調和設備	【熱源機器】吸収式冷凍機、冷却塔、熱源ボイラ、 プール用蒸気ボイラ 【空調機器】空調機エアハンドリングユニット 空冷式ヒートポンプパッケージ ガスヒートポンプパッケージ	

		ファンコイルユニット 【風道設備】全熱交換器 【自動制御】自動制御機器、中央監視装置 【熱源供給】クリーンセンターから蒸気供給	
	給排水衛生設備	【給 水】受水槽、高架水槽方式 【排 水】下水道放流	
法令適合	建築基準法	既存不適合	
	消防法	排煙窓	不適合な項目なし
	福祉のまち条例	不適合な項目あり	不適合な項目あり
その他	付帯設備	放送設備 監視設備 火災報知器設備 スプリンクラー設備 屋内消火栓設備 屋外消火栓設備 非常用発電設備	
	市防災計画の 位置づけ	緊急物資輸送拠点 ボランティア宿泊施設 地域拠点倉庫（中央）	陸上自衛隊宿泊施設

■ 課題等

令和元年度に行った老朽化調査（外壁、躯体、配管）の結果のほか、以下の課題が挙げられる。

項目	課題
安全性	<ul style="list-style-type: none"> * E X P . J 付近、4階廊下・用具室、1階廊下等から漏水。 * 露出配管・配線多数。 * E V が耐用年数を超えている。小さいため救急隊のストレッチャーが入らず緊急搬送が困難である。大型物品を階段で運搬しており危険である。また、業務用 E V がいないため備品の移動や清掃・工事等で E V を使用することにより利用者を待たせたり、E V 前や階段で動線が輻輳する。 * 建物周辺の照明が暗く、防犯上危険であるため更新が必要。
法令適合	<ul style="list-style-type: none"> * E V 前防火区画防火戸の設置、シャッター安全装置設置 * 排煙窓が一部開閉不可。
快適性・衛生	<ul style="list-style-type: none"> * 配管更新の付帯工事としての更衣室・シャワー・トイレ等の床・内装改修。

	<ul style="list-style-type: none"> * 南側更衣室・トイレの換気が悪く湿気がたまりロッカーに発錆あり。衛生的に悪い。 * トイレを和式仕様で作っているため、洋式に改修する際にスペースがない。扉との距離が非常に近い。 * 電気使用容量が少ない（特に会議室。ポットの使用は2台までなど、利用者の利便性が悪い。） * 更衣室の機能がアメニティの配慮が少ない（化粧台・ドライヤー使用への考慮がない） * エントランス・ロビーが暗い雰囲気です。近寄りがたいため、内装改修が必要。
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> * 点字ブロック・手摺の設置がない箇所がある。吊引き戸でない扉の改善。摩耗している階段ノンスリップゴムの付替。 * 授乳室がない、おむつ交換スペースが使用しづらい。 * 和式トイレを洋式に改修する際にスペースがなく、扉との距離が非常に近い。
環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 照明がLED化（人感センサー付）されていない箇所がある。 * 節水型衛生設備が設置されていない。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> * 窓口が1階と3階に分散されているため利用者の利便性が悪い。1階事務所が窓口機能と事務所機能が混在している。 * 事務スペースがOA床ではない。 * 体力測定室のスペースに無駄が生じている。 * 委託業者の詰所がなく倉庫の一部で休憩をしている。 * 倉庫・文書庫が不足し、廊下等に備品を置いている。 * 陸上器具を収納する倉庫が足りない。 * 芝生管理業者の資材・車両等の倉庫がなく、ゲートの一部を使用しているため出入口として使用できない。 * 視聴覚室の機材が古い。 * イベント時の関係者と観客の動線を分けることができない。 * 防犯カメラでカバーできていない場所がある（駐車場含む）。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> * アリーナ床材がフローリングのため消毒剤が使用できない。 * 更衣室の換気・スペースの確保が必要。 * 非接触型水栓など衛生器具が設置されていない。
外構等	<ul style="list-style-type: none"> * 陸上競技場は災害時に陸上自衛隊の宿泊地となるが、車両の出入口の勾配がきつい。 * アスファルト舗装に凹凸が目立ち補修をしているが全面的に再舗装が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> * 点灯しない街灯があり、駐輪場・駐車場ともに照明設備の更新が必要。 * 芝生スプリンクラーの性能が悪いため、フィールド全体に散水が行き渡るポップアップ式のスプリンクラーが現在主流となっており、更新が望ましい。 * 桜の枝に危険個所が多い。 * 陸上競技場でイベント開催の際、声援・場内放送等が場外に漏れる。 * イベント時の大型バスや搬出入のトラックをメインアリーナに横付けすることが困難。 * 駐車場が乗用車仕様であるためマイクロバス程度の車両は駐車できない。 * 駐車場から体育館・プールまで距離があるが通路に屋根がないため、障害者の移動が困難。 * 敷地内通路が生活道路として利用されているため、夜間や休館日のセキュリティ上課題がある。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 館内案内表示、デジタルサイネージの不足。 * 館内オブジェを竣工後に調査をしていない。 * 中3階（旧図書コーナー）のスペースを活用できていない。 * 防災備蓄倉庫が地下1階にあり、災害時の搬出が困難。 * ロールブラインドの改修が必要。

指定管理モニタリングアンケート（利用者意見）	
<p>【総合体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> * エレベーター：狭くて遅いため、不便である。 * トイレ：和式が使いづらい。すべて洋式に改修してほしい。赤ちゃんや小さい子を連れて入りづらい。 * 空調：直にあたるため、改善してほしい。 * 卓球：天井を高くしてほしい。 * 更衣室：南側更衣室の換気が悪い。 * 図書コーナーが暗くて怖い。 * 西側屋外通路が滑りやすく、危険である。 * 壁のクラックが多くて怖い。 <p>【陸上競技場】</p> <ul style="list-style-type: none"> * ナイター照明の設置 * 給水設備の設置 	

■ 現況写真



3-2 温水プール・屋外プール（管理棟含む）

■施設の現況

基本情報		温水プール	プール管理棟
	施設名称	武蔵野市立武蔵野温水プール	
	所在地	吉祥寺北町5-11-33	
	主要用途	水泳場	
敷地概要	用途地域	第一種住居地域	同左
	容積率	200%	
	建蔽率	60%	
	防火指定	準防火地域	
	高度指定	23m 第2種高度地区	
	日影規制	4h - 2.5h / 4m	
	前面道路	西側：市道17号線15m 北側：市道41号線9m	
建設概要	竣工年月	平成元（1989）年8月	昭和57（1982）年5月
	供用開始年月	平成元（1989）年11月	昭和57（1982）年6月
	設計者	株式会社東畑建築事務所	株式会社岡設計
	敷地面積	56,689.24 m ²	※総合体育館、陸上競技場、温水プールと一体で建築確認申請を行っている。
	うち市有地	55,286.17 m ²	
	うち借地	1,403.07 m ²	
	延床面積	3,224.91 m ² (温水プール 1,823.14 m ² 、管理棟 1,345.77 m ² 、屋外プールトイレ 56 m ²)	
	建築面積	2,496.95 m ² (温水プール 1,519.89 m ² 、管理棟 921.06 m ² 、屋外プールトイレ 56 m ²)	
	地上階・PH階	地上2階	地上2階・PH1階
	地下階	地下1階	—
構造	SRC造、一部RC造	RC造	
特定天井	該当なし	該当なし	
主な設備	電気設備	【設備】 高圧受変電設備 【供給】 総合体育館から電力供給	
	空気調和設備	【熱源機器】 蒸気ボイラ：体育館、還水槽：体育館 【空調機器】 空調機エアハンドリングユニット 空冷式ヒートポンプパッケージ	

		ファンコイルユニット パネルヒータ、床暖房 【風道設備】全熱交換器 【自動制御】自動制御機器、中央監視装置	
	給排水衛生設備	【給水】受水槽、加圧給水方式 【排水】下水道放流	
法令適合	建築基準法	不適合な項目あり	不適合な項目はない
	消防法	不適合な項目はない	不適合な項目はない
	福祉のまち条例	不適合な項目あり	不適合な項目あり
その他	付帯設備	放送設備、監視設備、火災報知器設備	
	市防災計画の位置づけ	災害時非常災害用給水施設（非常用時の飲料水用等の水源確保）には該当していない。	

■課題等

管理棟は旧屋外プール用として建設され、後に温水プールを増築したため、年間使用に適した施設ではなく経年劣化による不具合のほかに様々な課題がある。

項目	課題
安全性	<ul style="list-style-type: none"> * 可動壁（スライディングウォール）に腐食、ひび割れなどあり。一部が劣化により開閉できない。また、幼児プールの近くにある可動壁は開けることができない。パッキンの劣化により特に冬場は隙間風により冷気が入ってくる。 * 可動屋根（トップライト）が南側・北側ともに開閉できない。令和元年度に大型換気扇を設置したが、真夏には室温の上昇により熱中症が危惧される。 * プールサイド床材が劣化していて高圧洗浄もできない。 * プールの底タイルが滑りやすい。 * 各所シーリングの劣化。 * 地下機械室床面の損傷。 * 内部鋼製建具の塗装の劣化、発錆。 * 各所（配管、機械室、天井）からの漏水。 * 平成 29 年度、管理棟階段踊り場の天井化粧板が崩落した。 * 防犯カメラでカバーできていない場所がある
法的不適合	<ul style="list-style-type: none"> * 可動屋根の一部のガラスは現在建築基準法上適合しないため、網入り板ガラスへ交換する必要がある。
快適性・衛生	<ul style="list-style-type: none"> * 温水プール棟と管理棟に一般用の男女トイレがそれぞれ設

	<p>置されているが、現在和式であり、湿式で不快臭もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 15m プールは水の循環が悪く汚濁する。 * プール床暖房が壊れているため使用していない * 採暖室が暖まりづらい。 * 通路から男子トイレ内が見える。 * 空調の効きが悪く、夏暑く冬寒い。特に更衣室からプール間の階段が寒い。
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> * 管理棟出入口が観音開きである。 * エレベーターがないため2階見学者席への移動が困難。 * 受付に低カウンターがない。 * トイレと廊下の間に段差がある。 * 授乳・おむつ替えスペースがない。トイレ内が狭小のためベビーチェアやおむつ替えシート、手摺が設置できない。 * 手摺が設置されていないところがある。 * 視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない。 * 身障者用更衣室・シャワーに手摺が設置されていない。
動線	<ul style="list-style-type: none"> * 更衣室の出入口が1か所であるため、泳者と着衣者の動線が重なる。また、出入口がわかりづらい。 * 強制シャワーを通らずにプールに行くことができる。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> * 室内には幼児向けのプールがない。 * ジャグジーがない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> * 更衣室内に分電盤が設置してある。 * 2階渡り廊下の結露がひどい。

屋外プール

項目	課題
安全性	<ul style="list-style-type: none"> * 幼児プールの滑り台の勾配がきつく、水が流れていないため使用困難。 * 休憩時に休める日陰がない。 * プールサイド床面が熱くなる。
快適性・衛生	<ul style="list-style-type: none"> * 幼児プールは水底中央から給水していないため、水の循環が悪く、利用者が多いと汚濁する。また、オーバーフロー配水管径が小さくプールサイドに水が溢れる。 * プールサイドに屋外用トイレがあるが古い。
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> * 屋外プールへの動線上、手摺が設置されていない。 * 障害者が利用できるような水槽へのアプローチがない。

<p>その他</p>	<p>* 井戸本体が損傷しているため井水を使用できない。屋外プールを営業する場合は7月～9月上旬の1シーズンで4,500千円の上下水道代がかかる。都条例上、井戸を他の場所に新設することはできず、既存井戸を更新するには工事費が約1億円程度かかる見込み（駐輪場の外構解体・復旧等含む）。</p> <p>* 水深が深いため、南北をロープで分け、南半分にはフロア（赤台）を敷設しないと子どもが遊泳できない。</p>
------------	---

<p>指定管理モニタリングアンケートから（利用者意見）</p>	
<p>* 全体的に衛生面が悪く、改修をしてほしい。</p> <p>* 設備の老朽化が気になる。改修を希望する。</p> <p>* 日焼けしてしまうため、天井にUVカットのシートを張って欲しい。</p> <p>* 導線が悪く、冬場は更衣室からプールまでの移動がとても寒い。</p> <p>* 複雑な作りで、初めて使用する際に分からない。</p> <p>* トイレ：匂いが臭い。気になるので改修してほしい。</p> <p>* 更衣室：古くて清潔感がない。</p>	

■ 現況写真





3 - 3 軟式野球場

■ 施設の現況

		軟式野球場
基本情報	施設名称	武蔵野市立軟式野球場
	所在地	緑町 3 - 1 - 34
	主要用途	野球場・ソフトボール場
敷地概要	用途地域	第一種住居地域
	容積率	200%
	建蔽率	60%
	防火指定	準防火地域
	高度指定	23m 第2種高度地区
	日影規制	4 h - 2.5 h / 4 m
	前面道路	東側：市道 17 号線 15m、北側：市道 248 号線 11m
建設概要	供用開始年月	昭和 61 年 10 月 1 日、改修オープン
	敷地面積	9,663 m ²
	うち市有地	9,663 m ²
	うち借地	0 m ²
その他	舗装	天然芝
	防球ネット等	防球フェンス
	付帯設備等	ダグアウト、スコアボード、スプリンクラー、水栓（ホームベース後方、1・3 塁ベンチ内）、グレーチング（ベンチ前）
	市防災計画の位置づけ	一次集積場所候補地

■ 課題等

昭和 61 年 10 月に改修、リニューアルオープンをした。

項目	課題
安全性	*平成 29 (2017) 年度にレフトからセンターの防球ネットを嵩上げた (1.6→8.0m)。しかし平成 30 (2018) 年春からボールの規格が変わったことにより飛球距離が伸びており、テニスコートへの飛球が生じている。
バリアフリー	*球場入口に誘導用ブロックが設置されていない。
利便性	*隣接するクリーンセンターにトイレ、水栓、更衣室が備わっている (オストメイト、大型ベッドは未設置)。
外構等	*排水管が土砂によって詰まるため降雨時はベンチに雨水が溜まる。

指定管理モニタリングアンケート（利用者意見）

- * ベースを固定ベースが設置できるようにしてほしい。
- * 外野芝生が凸凹しているため、改善してほしい。
- * 内野グラウンドの凸凹を改善してほしい。
- * 照明設備を設置してほしい。
- * ホームランボールが庭球場に飛んでいくことがある。声掛けはしているが、思い切り練習ができないので、ネットの嵩上げを検討してほしい。

■ 現況写真



3 - 4 庭球場

■施設の現況

		庭球場
基本情報	施設名称	武蔵野市立武蔵野庭球場
	所在地	緑町3-1-34
	主要用途	庭球場
敷地概要	用途地域	第一種住居地域
	容積率	200%
	建蔽率	60%
	防火指定	準防火地域
	高度指定	23m 第2種高度地区
	日影規制	4h - 2.5h / 4m
	前面道路	西側：市道212号線9m 北側：市道248号線11m
建設概要	竣工年月	平成21年3月全面改修
	供用開始年月	平成21(2009)年4月1日、改修オープン
	敷地面積	4,666 m ²
	うち市有地	4,666 m ²
うち借地	0 m ²	
その他	舗装	砂入り人工芝
	防球ネット等	ネットポスト、防球フェンス
	市防災計画の位置づけ	—

■課題等

平成21年4月にクレイコートから砂入り人工芝へリニューアルオープンをした。

項目	課題
安全性	<ul style="list-style-type: none"> * 軟式野球場からの飛球がある。 * 補修を繰り返しているため段差が生じている * 日差しを遮るものがなく、夏場は熱中症の恐れがある。 * モニター（又は防犯）カメラがない。
快適性・衛生	<ul style="list-style-type: none"> * 人工芝が劣化している。特にライン付近が傷みやすい。 * パイルがすり減り、砂が乗りにくい * 人工芝の下の基礎がアスファルト舗装ではないため、凸凹やイレギュラーバウンドが生じる。
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> * 庭球場入口に誘導用ブロックが設置されていない。

利便性	*トイレ、更衣室まで距離がある。
-----	------------------

指定管理モニタリングアンケート（利用者意見）

*野球場からボールが飛んできて非常に危険である。ネットの嵩上げを希望する。

*コートに凸凹が増え、ライン付近の痛み箇所が増えている。人工芝の張替えを希望する。捻挫等の怪我にもつながりかねない。

*トイレ、更衣室、自販機などが遠い。

*仮設だったがトイレが近く便利だったが、移動して遠くになってしまい、不便である。

*更衣室にエアコンを設置してほしい。夏場は熱中症の危険がある。

■ 現況写真



3 - 5 緑町スポーツ広場

■施設の現況

		緑町スポーツ広場
基本情報	施設名称	武蔵野市立緑町スポーツ広場
	所在地	緑町2-2-29
	主要用途	多目的運動広場
敷地概要	用途地域	第二種住居地域
	容積率	200%
	建蔽率	60%
	防火指定	準防火地域
	高度指定	23m 第2種高度地区
	日影規制	4h - 2.5h / 4m
	前面道路	東側：市道17号線15m
建設概要	竣工年月	平成21年3月
	供用開始年月	平成21(2009)年4月7日
	敷地面積	2,358.11 m ²
	うち市有地	2,358.11 m ²
	うち借地	0 m ²
	延床面積	15.65 m ²
	建築面積	15.65 m ²
その他	舗装	砂入り人工芝 ニュークレイ舗装(緑化部) 透水性アスファルト舗装(外周)
	防球ネット等	防球ネット 昇降式天井ネット 開閉式間仕切りネット
	付帯設備等	管理小屋、シェルター、ベンチ、 倉庫、トイレ、水飲み場
	市防災計画の位置づけ	-

■課題等

昭和57年から平成12年まで緑町体育館及び緑町運動広場として開放していたが、市役所西棟の増築後、平成21年4月に緑町スポーツ広場としてオープンした。

項目	課題
安全性	*モニター(又は監視)カメラがない。

	* 釣り下げ式ネットのワイヤー、巻き取り器の劣化
快適性・衛生	* 人工芝が劣化している。
バリアフリー	* バリアフリースイレが設置されていない。
利便性	* 更衣室が備わっていないため、総合体育館を利用している。

指定管理モニタリングアンケートから（利用者意見）

- * ライン際の凸凹箇所が増えてきたため、人工芝の張替えを希望する。
捻挫等の怪我にもつながりかねない。
- * 雷対策や雨対策をしてほしい。

■ 現況写真



第4章 対策の優先順位と施設の評価

4-1 優位順位の考え方

施設の状況（老朽化、損傷、バリアフリー）、施設の利用状況、公共施設等総合管理計画の基本方針・類型別方針、社会環境などを鑑み、改修、整備、適正な維持管理を行っていきます。

4-2 施設評価と今後の方針

施設ごとの評価と今後の方針は以下のとおりです。老朽度については、本市における施設の耐用年数 60 年に対する残耐用年数の比として計算しています。

【老朽度】

老朽度 A：築後 10 年以下（大きな改修等が不要）

老朽度 B：築後 10 年超～25 年以下

老朽度 C：築後 25 年超～35 年以下（大規模改修実施時期）

老朽度 D：築後 35 年超～50 年以下

老朽度 E：築後 50 年超（更新の準備時期）

■ 総合体育館

主な競技種目	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、フットサル、ダンス、体操、マット運動、ジョギング、筋力トレーニング、柔道、空手、合気道、ヨガ、剣道、太極拳、気功、弓道、アーチェリー、会議・研修等
年間利用者数	225,452 人（令和元年度）
諸施設	【地下 1 階】 防災備蓄倉庫、電気室、機械室 【1 階】 メインアリーナ、軽体操・ダンス室、トレーニング室、体力測定室、卓球室、幼児室、トイレ・更衣室・シャワー、障害者用トイレ・更衣室・シャワー、事務室 【2 階】 サブアリーナ、ランニング走路、選手控席、トイレ・更衣室・シャワー、障害者用トイレ

	<p>【 3 階 】</p> <p>大会議室、視聴覚室、洋室研修室、和室研修室、野外活動センター、体育協会、トイレ、障害者用トイレ</p> <p>【 4 階 】</p> <p>柔道場・剣道場、弓道場、トイレ・更衣室シャワー、障害者用トイレ</p>
評価	<p>建築年度は平成元年度であるため老朽度はCです。大規模改修の時期が近いとため令和元年度に老朽化調査を行い、「外壁タイルは剥離による落下を防止するために早目に改修に着手し、急を要さないが長期の休館を伴う大規模改修は令和3年度から基本計画の策定を開始する」との方向性を示しています。</p> <p>武蔵野市地域防災計画上、災害時には緊急物資輸送拠点等となるため、災害時を想定した施設整備が求められます。</p>
今後の方針	<p>外壁タイル、サブアリーナ等の屋上防水などの工事を令和3年度から4年度にかけて実施します。</p> <p>給排水管などの保全と機能改善を図る大規模な改修工事については、令和3年度から基本計画の策定をはじめ、令和4年度から5年度にかけて基本設計・実施設計を行い、令和6年度に改修工事を実施する予定です。</p> <p>総合体育館は第一期長期計画第二次調整計画（昭和52～56年度）に「市民総合体育館建設の検討」として初めて市の長期計画に取り上げられ、第二期長期計画第一次調整計画（昭和60年～65年度）の重点事業となりました。近隣自治体にも類をみないレベルの施設であり、武蔵野市のスポーツ振興の拠点として竣工当時から子どもから高齢者まで多くの方々に利用されてきました。引き続き高い水準を保ちながら他の市立体育施設の要として有機的な結びつきを創出し、本市のスポーツ施策を牽引していく役割を担います。</p>

■ 陸上競技場

主な競技種目	陸上競技、サッカー、ラグビー等
年間利用者数	27,158人（令和元年度）
諸施設	【トラック】

	<p>400m×8コース、オールウェザー（ウレタン樹脂系）</p> <p>【インフィールド】 芝生、サッカー・ラグビー使用可</p> <p>【ジョギングコース】 1周 520m</p> <p>【観覧席】 スタンド部分 2,188席、芝生席部分約 3,000人</p> <p>【スタンド下】 ダグアウト、チームロッカールーム 2室</p>
<p>評価</p>	<p>スタンド（観覧席、諸施設）の建築年度は平成元年度であるため老朽度はCです。計画期間中に大規模改修の時期を迎えることから、予防保全的な維持管理を行いながら、総合体育館とともに計画的な改修を検討します。</p> <p>昭和 24 年第 5 回市議会定例会において市営運動場条例制定が上程、可決され、以来、（公財）日本陸上競技連盟公認第 2 種競技場として数々の公認大会を開催してきました。公認を受けるためには 5 年に一度、経年劣化や日本陸上競技連盟のルール改正への対応と検定が必要となります。そのため備品購入・維持管理に経費を要することから、平成 11 年 11 月 1 日付けで第三種公認競技場の公認を受け、以降水準を保っています。</p> <p>本市のように総合体育館に陸上競技場・スタジアムが併設・連結されている施設は少なく、また、屋内競技と屋外競技が同時に楽しむことができることは武蔵野総合体育館と武蔵野陸上競技場の特徴と言えます。施設の水準も高いため、ラグビーワールドカップ 2019™時に開催したパブリックビューイングのように多様なニーズに対応できるポテンシャルを有しています。</p> <p>武蔵野市地域防災計画、災害時には陸上自衛隊宿泊施設となるため、整備をする際には災害時にも対応できることを想定することが必要です。</p>
<p>今後の方針</p>	<p>総合体育館の大規模工事にあわせて計画的な改修を検討します。また、陸上競技場第三種公認の次回の検定は令和 5 年度に予定しています。（公財）日本陸上競技連盟による事前検査によって工事内容が決まるため現時点では改修内容は定ま</p>

	<p>っていませんが、指摘事項に基づき適切に維持、改修を行っていきます。</p> <p>引き続き、魅力ある大会・イベント等の誘致や市民利用に供することができるよう、施設を整備していきます。</p>
--	--

■ 温水プール・屋外プール（管理棟含む）

主な競技種目	水泳
年間利用者数	131,498人（令和元年度）
諸施設	<p>【管理棟 1、2階】</p> <p>ホール、身障者トイレ・更衣室・シャワー、トイレ（ホール、プール前）、強制シャワー、採暖室、事務室、会議室、監視員控室・ロッカー室、ろ過室、薬品置き場、倉庫、トイレ・更衣室・シャワー、渡り廊下</p> <p>【温水プール 1、2階】</p> <p>25Mプール 1面 25m×15m、7コース、水深 1.2m～1.4m</p> <p>15Mプール 1面 15m×8m、水深 0.9m～1.0m</p> <p>見学コーナー</p> <p>【屋外プール】</p> <p>50Mプール 1面 50m×25m、11コース、水深 1.2m～1.8m （フローア設置時 0.8m～1.8m）</p> <p>幼児プール 1面、直径 12m、水深 0.3m～0.4m</p>
評価	<p>管理棟の建築年度は昭和 57 年度、温水プールの建築年度は平成元年であるため、老朽度はDです。計画期間中に大規模改修が必要となりますが、温水プールには建築基準法上の既存不適格、バリアフリーなどの様々な課題があります。</p> <p>また、中島飛行機武蔵製作所の施設として戦前から使用されていた屋外プールは、昭和 28 年第 3 回市議会定例会において市営運動場設置条例改正議案として上程、全会一致で可決となり、翌 29 年 3 月に体育施設使用条例設置議案の改定の条例改正が可決されました。現在も 7 月から 9 月中旬は夏季プールとして多くの市民に利用されていますが、井戸が経年劣化によって使用できないなどの不具合が生じています。</p> <p>また、市道第 17 号（中央通り）は市役所以南が特定緊急輸送道路に指定されており、全線が第 2 次緊急輸送道路に指定されています。さらに、景観整備優先路線の中長期事業化</p>

	路線であることから、将来的に無電柱化整備が予定されています。その際には温水プールと屋外プールが支障になることが想定されます。
今後の方針	予防保全的な維持管理を行っていきませんが、温水プール、管理棟、屋外プールはそれぞれ課題があるため、スポーツ振興計画の改定を行う際には一体として今後のあり方を検討します。

■ 軟式野球場

主な競技種目	軟式野球、ソフトボール
年間利用者数	13,598人（令和元年度）
諸施設	野球場1面、バックネット、ダグアウト
評価	昭和61年度に改修を行っているため老朽度はDです。武蔵野市地域防災計画上、一時集積場所候補地であるため、整備をする際には災害時にも対応できることを想定することが必要です。
今後の方針	近い将来、大規模なグラウンド整備や防球フェンス（支柱含む）の改修が必要になると見込まれるため、劣化状況に注視し、予防保全的な維持管理を行いながら、計画的な改修を検討します。

■ 庭球場

主な競技種目	硬式テニス、ソフトテニス
年間利用者数	46,925人（令和元年度）
諸施設	砂入り人工芝コート7面
評価	平成21年4月に砂入り人工芝としてリニューアルオープンしたため老朽度はBですが、人工芝の耐用年数を鑑みて計画期間中に人工芝の全面張替時期を迎えます。
今後の方針	予防保全的な維持管理を行いながら、計画的に人工芝の全面張替えを行います。

■ 緑町スポーツ広場

主な競技種目	フットサル、ドッジボール、ゲートボール、グラウンドゴルフ等
年間利用者数	13,119人（令和元年度）
諸施設	砂入り人工芝コート、簡易トイレ、シェルター、ベンチ
評価	平成21年4月に砂入り人工芝としてオープンしたため老朽度はBですが、人工芝の耐用年数を鑑みて計画期間中に人工芝の全面張替時期を迎えます。
今後の方針	予防保全的な維持管理を行いながら、計画的に人工芝の全面張替えを行います。

第5章 対策内容と実施時期

5-1 対策内容と実施時期

実線 改修・保全工事、設計など

破線 維持修繕

(単位：百万円)

施設名 (竣工・改修年度)	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	対策費用等 <small>改修・保全工事、設計など</small>
総合体育館 (1989年度)	総合体育館大規模改修工事 基本計画、基本設計・実施設計				工事					竣工40年	4,677百万円
	外壁・屋上防水等工事										
陸上競技場 (1989年度)			三種公認 工事					三種公認 工事			132百万円
温水プール(1989年度) 屋外プール 管理棟(1982年度)		管理棟40年							温水プール40年		934百万円
軟式野球場 (1986年度)											
庭球場 (2009年度)					砂入人工芝の全面張替 を検討・設計・実施				改修後20年		97百万円
緑町スポーツ広場 (2009年度)					砂入人工芝の全面張替 を検討・設計・実施				改修後20年		27百万円

第6章 本計画の実現に向けて

6-1 フォローアップの方法

本計画期間終了後、本計画の進捗を確認、評価しながら、新たな整備計画を策定します。また、今後改定されるスポーツ振興計画とあわせて、適宜教育委員会による点検・評価、市議会への報告、市民への公表を行います。

6-2 実施体制

本計画の実施にあたっては、財務部施設課や指定管理者と連携し、市全体の財源や事業、体制の調整、予算化をはかりながら実施していくものとします。また、定期的な診断、指定管理者による日常的な点検、保全工事、機能改善など、適切に対処し長寿命化を図っていきます。

6-3 未来へ向かって

武蔵野市立体育施設は、市域全体に小規模で中途半端な施設を分散・乱立するのではなく高い水準の施設を集中して設置したことで、一体的、効率的・効果的な運営と高い水準の維持を図ることができました。このことは、旧中島飛行機(株)の社員倶楽部、競技場、プール、都立吉祥寺保育園の移管・移転・跡地利用、クリーンセンターの余熱利用などの産物でもあります。様々な要因によって施設間のつながりや面的な広がり生まれ、エリア一体がスポーツ施設の集積地となり、屋内競技・屋外競技ともに多くの市民のスポーツ活動の拠点となりました。

バリアフリーに関しては、一部の施設では課題がありますが、比較的いずれの施設もフラットであり、障害のある方、高齢者にとっても利用しやすい環境が整っています。総合体育館においては建設当時から「障害者の利用」、「幼児から高齢者まで」を掲げていたことが、障害者スポーツ教室の開講、障害のある方の利用促進、ジャパンパラボッチャ競技大会(国際大会)、ボッチャ東京カップ、パラバレーボール日本選手権等をはじめとするパラスポーツ大会の開催へとつながっています。

また、世界の距離が縮まり小さな地球となった現在においては、スポーツ祭東京2013(国民体育大会)の開催、ラグビーワールドカップ2019TMチームキャンプ地誘致、パブリックビューイングの実施、海外選手の強化合宿など、全国的・国際的なスポーツイベントも開催されるようになりました。市民にとって身近な市民施設から世界との接点や多様なスポーツ文化が生まれ、交流が育まれています。

困難な時代だからこそ、スポーツによって国籍・民族・思想・信条・言語・国境の壁を乗り越え、互いを尊重し、寛容性を育み、喜びを分かち合う機会が求められています。市民にとって貴重な市立体育施設に対し、これからの時代の顕在的・潜在的ニーズに適合できるような整備を行い、市民のスポーツ文化の発展に寄与していきます。

武蔵野市立体育施設類型別施設整備計画

発行 令和 3 年 3 月

**武蔵野市教育委員会
生涯学習スポーツ課**